

患者図書室 “いきいきの森” だより

節分のお話

節分とは、本来は季節の変わり目—立春、立夏、立秋、立冬の前日を指します。なかでも立春は一年の始まりとして重要とされたことから、節分といえば春の節分を指すようになっていきました。

豆まきの習慣は、豆が「魔滅（まめ）」に通じることから無病息災を祈って行われました。豆に厄を移してまくため、生の豆では芽が出て縁起が悪いとされ、炒った豆を使います。また豆を自分の数え年の数だけ食べることによって健康に過ごすことができるとも言われています。



1月の貸出テーマランキング

1位 がん

『退院後のがん患者と家族の支援ガイド』
『がん術後の人の食事』他

2位 脳・神経系

『脳出血・くも膜下出血はこうして防ぐ、治す』
『脳腫瘍のすべてがわかる本』他

3位 図解人体

『トリセツ・カラダ
カラダ地図を描こう』他



図書の紹介

今月は目の病気に関する本をご紹介します。高齢化社会が進む日本では、いま失明の恐れがある病気が急速に増えています。とくに緑内障は中途失明する原因疾患として糖尿病網膜症を上回る勢いで増加しています。目の病気はすぐに表面化しないので、眼科で自分の目の状態をチェックしておくことが大切です。



「目の病気がよくわかる本」大鹿哲郎/監修

ゆがむ、ぼやける、視野が欠ける…点眼薬で治る？手術を受けたほうがいい？目の見え方に不安を感じたら今すぐ検査と対策を！診断の受け止め方や治療に対する心構え、さらに治療後の注意点や見えにくさをカバーするための生活の工夫も紹介します。

「目の病気の最新治療」杉田美由紀/監修

失明原因となる目の病気、緑内障、糖尿病性網膜症、加齢黄斑変性症はなによりも早期発見、早期治療が大切。さらに多くの人が罹患する白内障も油断してはいけない病気。生活の質を低下させる失明から身を守ろう！

